みんなでチャレンジ

町民ウォーキングリレー

これまでの報告

世界踏破の旅

★１２月１日～３１日までの報告
★町民参加者：４８人
★１２月に歩いた距離：6,501 km
★これまでにみんなでリレーした距離：209,511km
★到着した場所：：オーストラリア　キャンベラ

11月に到着した南極大陸コーツランドを出発した後ニュージーランドを経由し、オーストラリアのキャンベラに到着しました。

オーストラリアは日本の約21倍、世界で6番目に面積の大きい国であり、地球の最大の島で最小の大陸です。世界遺産でもある珊瑚礁の広がるグレート・バリア・リーフは宇宙空間からも確認できるほど広大であり、生物が作り出した単一の構造物としては世界最大だそうです。ノーザンテリトリーのウルルは複合遺産として認められたオーストラリアの代表的な自然景観で、有名な観光地になっています。

オーストラリアの首都であるキャンベラは35万8000人の人口を擁し、オーストラリア国内では8番目同国内陸部では最大の都市です。首都名の「キャンベラ」は、地元のオーストラリア先住民のアボリジニ語に由来し、「Meeting Place、出会いの場」を意味します。オーストラリア連邦の成立とともに首都を設置することになり、候補地の中でシドニーとメルボルンが首都争いで激しく対立したため、その打開案としてシドニーとメルボルンとの間に直線を引いたほぼ中間地点の土地を1908年に首都と決定したそうです。

日常的に歩く習慣を身につけ
楽しく歩く仲間を増やし
健康で元気な町をみんなで創ろう

＊＊参加者募集＊＊
健康増進係（チアフルついき　56-0300
内線 710）にて随時受付中。

緑のふるさと協力隊 No.9

井上　龍太郎

ついにこの広報誌に原稿を書くのもあと2回になりました。悩みの尽きない日々を過ごしています。それが20代の特権かもしれないとたまに思います。

1月13日に人生初の成人式に参加し、司会を務めました。なかなかうまく出来ませんでしたが、良い経験になりました。自分が20歳のときはまだ浪人生活をしていて、センター試験の勉強で忙しく、参加できませんでした。そのとき勉強していた図書館の目の前の区民センターで成人式が行われているところを見たときの事を最近思い出します。

家庭菜園の変遷を書こうと思います。4月は何をしたらいいのか分からず、何もしていませんでした。5月から7月は近所の久保和明さんの助けもあって、様々な夏野菜を育てました。主にきゅうりやなすび、ピーマン、トマト類でした。その後、オクラも植えました。それらは、自分の食事となり健康を維持するのに大変貢献してくれました。8月からは暑さに負けて放置になってしまいました。秋にはニンジン、ジャガイモも植えましたが、鳥獣被害に遭い壊滅。キャベツやブロッコリーなどの葉物も虫の餌食となってしまいだめでした。春から夏にかけて植物の生きようとする強さを感じました。また、放置すると育ちが悪く野菜も寂しがりやなところがあるのだと思いました。実際に野菜を育てると教科書どおりでないことを知りました。「一回の実践は百の練習に匹敵する」という言葉を聞いたことがあります。まさにそういうことだと思いました。

（1 月 13 日・成人式にて）